

東京証券取引所
市場第一部上場のご挨拶

謹啓 立春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は平成12年、ジャスダックへの上場を経て、平成15年に東証第二部へと株式を上場致しておりますが、この度、東京証券取引所のご承認を得、平成16年3月1日より東京証券取引所第一部に昇格上場させていただく事となりました。

お取引先様、株主様をはじめご支援いただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

株式会社日本トリムは、昭和57年の創業以来、人間にとって最適な「水」とは何かを追求すべく、国内外の様々な大学や病院と共同研究を行ない、その研究結果を国内外の著名なジャーナル、学会に発表して参りました。

昨年には、九州大学大学院との「抗糖尿病」に関する共同論文をオランダの科学誌『サイトテクノロジー』へ、台湾大学医学部との「人工透析への応用」に関する共同論文をアメリカの医学誌『キドニーインターナショナル』へ発表するなど、医療分野への応用を含めた「電解還元水の多用途化」を目標としております。

また、平成11年に米国ボルチモアに設立した異常遺伝子検索キットの開発を主事業とする連結子会社 TrimGen Corporation(トリムジンコーポレーション：100%出資子会社)は、昨年11月、日本トリム本社内に日本支社を設立致しました。これを契機に国内での医療機器メーカー、各研究機関や大学などへの働きかけを強化しつつ、当事業の立上げを行っております。

このような事業展開を背景に、当期の業績につきましても過去最高の売上高・利益が計上出来るものと確信致しております。

昨年は対外的にも、9月に日本経済新聞本紙の特集「2003年度日経優良企業ランキング」において、全国上場企業2,258社の中で、総合第98位という高い評価を頂戴するなど、様々なメディアで弊社が取り上げられた一年でもありました。

今後、日本トリムグループは、日本トリムの「電解還元水」と TrimGen の「異常遺伝子検索キット」を基盤とし、さらなる研究を積み重ね、家庭用(飲用)はもとより、疾病の予防から治療へ向け、新しい医療システムの開発を目標とし、日本発の技術で世界へ翔く、オンリーワン企業構築を目指して参りますので、尚一層のご指導、ご鞭撻の程、宜しく御願申し上げます。

謹白

平成16年2月吉日

株式会社日本トリム

代表取締役社長 森澤紳勝